▲　当山にての夏季講座　和田新吾先生　　（8月24日撮影）

慧光

金光寺寺報
第２６６号
発行所　金光寺
宮崎県西臼杵郡
五ヶ瀬町大字鞍岡
５９２７番地
☎　０９８２
８３－２３３８

今月のことば　法語カレンダー

「まこと」のひとかけらもない私に仏さまから差し向けられた「まこと」

石田慶和

石田慶和先生はかつて海軍の学校で学ばれていたというご経歴もあり、日本は戦争に必ず勝つと教えられ、疑うことも許されない状況のなかにおられました。しかし、日本は戦争に負け、国中が焦土と化したとき、ご自分が信じてきたものがまったくのうそ偽りであったことを実感されます。そこから親鸞聖人の教えに耳を傾けていかれます。とりわけ先生の胸を打ったのが、『歎異抄』のお言葉でした。

戦時中にまことだと信じていたものが、後に偽りだとわかり、先生は「みなもつてそらごとたはごと、まことあることなし」ということを身をもって体験され、「煩悩具足の凡夫」とあるように、偽りのなのは世の中だけではなく、自分自身の心の中こそ偽りに満ちているということを強く意識されるようになります。世界にも自分にも「まこと」はまったくないのだと気づいたとき、「ただ念仏のみぞまことにておはします」という言葉が強く胸に迫ってきたとおっしゃっています。今月のことばの背景には、そのような体験と気づきがあったのです。

南無阿弥陀仏のお念仏は、阿弥陀さまがこの私に至り届いてくださっているすがたであり、阿弥陀さまは、私たちの価値観を否定したり、私たちの行動に罪を告げたりはなさりません。自分の価値観に固執し、自分こそ正しいのだと、ときに他者を傷つけるような生き方をしている、そのような私のすがたに涙されたのが阿弥陀さまです。「『まこと』のひとかけらもない私に、仏さまから差し向けられた『まこと』」である南無阿弥陀仏こそ、まさしく人生の依りどころであるといえます。

（本願寺出版社刊「大乗」誌掲載
『月々のことば』より抜粋　転載）

仏事お休みのお知らせ

下記の日は緊急を除き仏事はお受けできません。ご協力をお願いします。

◎　９月
　１４日　（終日）
　１６日　（終日）
　２３日　（午前）
◎　１０月
　１５日　（終日）
　２２日　（終日）

８月、次の金光寺門信徒の方がご往生なさいました。
謹んでお悔やみ申し上げます。
２０２３年　８月１８日満７９歳
長峰泉　久志様
２０２３年　８月２９日満７１歳
高千穂佐藤和徳様

鞍岡・８月の天候　（アメダス）
最低気温・１８．８℃（２８日）
最高気温・３３．５℃（２０日）
夏日日数・　１６日/３１日
真夏日日数・　１５日/３１日
月間総雨量・880.5mm(降雨日数・18日)
一日最大雨量・３３０．０mm（９日）

ホームページ開いています。
URL　https://konkouji.jp/
９月１日現在アクセス数　146,682人

金光寺のひと月

八月

一日　木村ミサ子様　三回忌
木村スエミ様　二十五回忌
二日　領解文オンライン学習会
三日　当山前坊守釋妙順　月忌
田中義雄様満中陰、納骨
七日　唐木國男様　七回忌
内陣工事
十日　甲斐繁子様　一周忌
甲斐晃一家納骨堂建碑式
甲斐繁子様、賢治様遺骨納骨
責任役員、総代、
仏婦役員合同会議
十二日　杉村ナツエ様　七回忌
十三日　花田秀義様　一周忌
藤木アサエ様　七回忌
初盆会（十三軒・十四人）
十四日　杉本久志様　一周忌
初盆会（十一軒・十二人）
十四区寺報配布
十五日　金光寺　盂蘭盆会法要
尾宮トシエ様　十七回忌
古橋裕子様　一周忌
長澤シズ子様　一周忌
初盆会（五軒）
十八日　当山前住職釋依章　月忌
泉　久志様　臨終勤行
十九日　役員境内地清掃奉仕作業
泉　久志様　通夜
二十日　泉　久志様　葬儀、火葬
泉　久志様　礼参り
泉　久志様　初・七日忌
二十一日　渡邊あきえ様　五十回忌
二十二日　岡田義美様　三十三回忌
市村住義様　一周忌
二十四日　第六十九回高千穂組
仏教夏季講座（於・当山）
二十六日　水田敏秋様　中陰、納骨
二十九日　橋本高美様　十三回忌
三十日　藤本アサノ様　三十三回忌
佐藤和徳様　通夜
三十一日　佐藤和徳様　葬儀
（七月二十四日から八月二十三日までの二十四日間、向拝と山門から本堂へ向かう参道に敷石敷設工事を行いました。十九日から二十二日までは書院と庫裏仏間にエアコン設置工事を行いました。）

住職ひとりごと

千穂十一年ごとに回ってくる高組の夏季講座、今回とは十六年ぶりに開催されました。新型コロナ金光寺での延期二回、特別番コロナ三回、三十年ぶりの開催となった。

当山前住職釋依章　月忌
泉　久志様　臨終勤行
役員境内地清掃奉仕作業
泉　久志様　通夜
泉　久志様　葬儀、火葬
泉　久志様　礼参り

にたえるように、前もって参道の敷石敷設工事、拝合日、なるべく早く開催できるようにと、参道の新設工事にたき火をしてもらいました。▼内陣の工事は、夏季講座やご法要、毎年四月に行う予定でしたが、コロナ禍のため、特に考えもしませんでした。

新型コロナ禍の三回目、十月に開催することが、思ったよりも早く、準備期間がなかなかとれず、ご迷惑をおかけしてしまいました。▼今年の十六年ぶりの夏季講座は、準備期間がもっとあれば、もっとよくできたのではないかと気付きました。（住職　松井卓郎）